

資料－ 8

平成 26 年度 第 1 回

北陸地方整備局

事業評価監視委員会

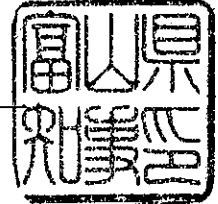
都道府県への北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る

対応方針（原案）に係わる意見聴取について

河 第 80152 号
平成 26 年 7 月 31 日

国土交通省
北陸地方整備局長 殿

富山県知事 石井 隆



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 26 年 7 月 3 日付け国北整企画第 38 号、国北整港計第 7 号で
照会のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

意見

事業継続に同意する。なお、今後ともコスト縮減に努め、早期に
効果が発現されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。特に利賀
ダムについては早期に検証を終え、本体工事に着手するようお願い
したい。

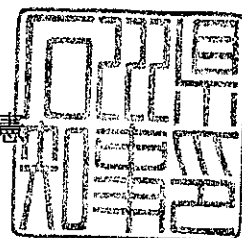
事務担当：土木部河川課計画係
TEL076-444-3325



土 調 第 39 号
平成26年7月31日

北陸地方整備局長
野田 徹 殿

石川県知事 谷本 正憲



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

平素は、本県に対しまして多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成26年7月3日付け、国北整企画第38号及び国北整港計第7号で依
頼のありました標記について、別紙のとおり回答いたします。

（事務担当）

石川県土木部企画調整室
企画G

TEL：076-225-1709

FAX：076-225-1714

【河川事業】

事業名	県意見
手取川直轄河川改修事業	<p>手取川は我が国有数の急流河川であるとともに、扇状地を貫流する地形条件により、氾濫した場合には広範囲に甚大な被害が及ぶことが想定される。</p> <p>過去にも昭和9年の大洪水を始め、度々水害が発生していることから、順次整備を進めていただいているところであるが、現在も河口部の流下能力が不足しているため、本川水位の上昇により、支川での浸水被害の発生が懸念されている。</p> <p>これに加え、急流河川特有の強大なエネルギーによる河岸侵食が著しく、洪水時には堤防が決壊する恐れがある。</p> <p>このため、引き続き直轄として事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。</p>

【道路事業】

事業名	県意見
国道159号 羽咋道路	<p>国道159号は、七尾市を起点として、中能登地域の主要都市を通過し、金沢市に至る幹線道路である。</p> <p>このうち羽咋道路については、先に整備された押水バイパスや鹿島バイパスを連絡し、中能登地域の幹線道路網を形成するとともに、安全で円滑な交通の確保や災害時の緊急輸送道路として重要な道路である。</p> <p>現在事業中の羽咋市四柳町～宝達志水町二口間については、既に部分供用している国道415号羽咋バイパスと相まって広域交流の拡大や地域の安全・安全確保を図るうえでも、早期整備が必要である。</p> <p>このため、国道159号羽咋道路については、引き続き事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。</p>

【道路事業】

事業名	県意見
<p>国道470号 輪島道路 (輪島道路、輪島道路(Ⅱ期))</p>	<p>国道470号は、能登地域の活性化に寄与するとともに、北陸自動車道及び東海北陸自動車道と連結し、全国各地との交流ネットワークを構築する重要な路線であり、さらに、災害時における緊急輸送道路としても大きな役割を担うものと考えております。</p> <p>つきましては、平成26年度末に予定されている北陸新幹線開業後もその効果を持続・発展させていくためにも、一日も早い全線供用が重要であることから、国道470号輪島道路及び輪島道路(Ⅱ期)については、引き続き国直轄事業として事業を継続し、コスト縮減に努めつつ、着実に整備を進めていただきたい。</p>